

DO YOUR BEST

NO. 216

介護福祉士

2022.10発行

一般社団法人
福島県介護福祉士会
文責 小山田 米子

【介護の日イベント Youtube URL】

今年の介護の日イベント企画として、様々な動画を作成いたしましたので、皆さん、是非ご覧ください。

はじめに

https://youtu.be/R60W3KE8_u4

介護の技術

https://youtu.be/jNw_7VTdfF8

ヨーガ

<https://youtu.be/7VplOilXzrg>

癒しの映像(アニマルセラピー)

<https://youtu.be/s-AxMy2F87A>

癒しの景色(会津の景色)

<https://youtu.be/FgRSh44Z0wQ>

配信期間:11月8日、9時~11月22日まで



動画の感想を下記のメールアドレス宛にお送り下さい。

お送り頂いた方から抽選で景品をプレゼント!

E-Mail jaccw_fukushima@ybb.ne.jp

締め切り:12月20日(火)



FUKUSHIMA



一般社団法人 福島県介護福祉士会

〒963-0108 福島県郡山市笹川一丁目184-29 クレストハイツ184 102号室

FAX 024-943-1848 E-Mail jaccw_fukushima@ybb.ne.jp

ホームページ <http://www7b.ne.jp/~jaccw-fukushima/>



【全国大会に参加して】



県中方部 片寄 良啓

去る10月19日に「第29回全国大会・第20回日本介護学会inかながわ」にオンラインで参加いたしました。オンラインでの参加でしたが、大さん橋ホール会場から受付の様子、出展ブースではインタビュー形式で行われ、事業案内、紹介など賑やかな状況が十分に伝わってきました。時折映る横浜ベイブリッジの映像と心地よいバッグミュージックにより、“横浜”で開催していることを感じさせてくれました。福島開催だと…磐梯山、鶴ヶ城？など勝手に想像してみたり。

行政説明では、SNS、ネット広告による情報発信により「介護のしごと魅力発信等事業」の取り組みを強化。アナログな私(只今猛勉強中…)としては改めて自身のスキルを痛感いたしました。キャリアパスについては山脈のような形でいろいろな頂点を目指せること等等。

災害に関する学びの事例では、介護施設での防災の取り組み、箱根の土砂災害でのDWATとの連携、今回の裏テーマとして“防災×地域福祉”地域の人に知ってもらい取り組み等、各々興味深く視聴することができました。

基調講演では園崎氏より、BCPとは「受援計画である」。外部支援者の活用の重要性も詳しく学ぶことが出来、策定に関する貴重な話を聞かせていただきました。災害に備える平常時の心構え、ネットワーク構築など、今後の取り組みに繋げていきたいと思えます。



県中方部 小林 広子

2日目の「マインドフルネス」「ジョブ・クラフティング」についてのワークショップを視聴しました。聞き慣れない言葉でしたが「マインドフルネス」は今の瞬間の現実常に気づきを向け、その現実をあるがままに自覚し、それに対する思考や感情に囚われない心の持ち方、存在の有様。肝は気づける力を育てること。「ジョブ・クラフティング」は働き手一人ひとりが、仕事に対する認知や行動を自ら主体的に修正していくことで、退屈な作業や“やらされ感”のある業務をやりがいのあるものへ変容させる手法。業務は変わらない現実、給与が上がるわけではない。が社会的な交流の質や量、仕事のやり方や範囲を見直し慣例にオリジナルを取り込み仕事の意義を捉え、自分にしかできないことに挑戦しもっとしあわせに働いて欲しいとの内容でした。興味深い内容でしたが短時間では理解しきれませんが、瞑想自分に集中し雑念に気づき戻し集中、心を無にすることを活用できればと思いました。

講師の清水ハン栄治氏のポジティブ心理学をテーマにしたドキュメンタリー映画「happy-しあわせを探すあなたへ」はアマプラで観ることができるそうです。



【倫理委員会】



皆さんは利用者様との関わりの中で十分な声かけが出来ているでしょうか？

利用者様には、それぞれ個性があり、意思があり、異なる人生があります。職員にも感情やそれぞれの能力、技術の違いがあります。そんな中で私達は出来る限りの対応をしているはずですが。利用者様と職員を繋ぐのは、声かけや寄り添う笑顔ではないでしょうか？

時には声かけしても、こちらの気持ちが伝わらなかつたり、怒られたり、落ち込む時もあります。

今回、千葉で夜勤の職員が利用者様の言葉に腹を立て、暴力で死亡させるという事件がおきました。

咄嗟の犯行とはいえ、一度深呼吸をして、「また来ますね」の声かけをしてその場から、離れることも出来たのではないのでしょうか？

自分の声かけや、対応が利用者様に受け入れられなくても、そんな時は一人で考え込まずに周りの力を借りて自分の出来る範囲で十分だと思えます。他の職員が声かけをしたら、スムーズに受け入れてくれる利用者様は多々いらっしゃると思います。また、別な日には、他の職員の声かけには、反応せず自分の声かけを受け入れてくれる利用者様もいるかもしれません。その時、その時によって、利用者様の気持ちも変わってくることを忘れずに利用者様の「こんな笑顔を見せてくれるんだ」「こんなことが出来るんだ」など、自分しか知らない利用者様を見つけて下さい。そして、自分の中の「思いやりの気持ち」や「ありがとう」の気持ちを言葉にのせて声かけをしてもらえたら、きっと利用者様に伝わると思えます。自分の出来る範囲で無理をせず、周りの職員と協力しながら、利用者様、職員共に笑顔で過ごしたいと思ひながら、日々働いています。

【新任介護職員研修の開催様子】

いわき市で、食事介助について



講師：石井副会長

受講者の様子



白河市で、ユマニチュードの理解について



受講者の様子



講師：認知症介護専門士 橋本 好博氏

新任介護職員研修の受講申し込みお待ちしております！！

【リレーフォーライフへ参加をして】



県北方部 五十嵐稔

皆様コロナ禍での日々の業務お疲れ様です。さて、10月2日日曜日、恒例のリレーフォーライフが福島市あづま総合運動公園にて開催されました。今年で13回目を迎え、参加者は約26団体と、個人が参加されました。今年は短い時間での開催でしたが、秋晴れの中、思いにふける有意義な時間となりました。がんの啓蒙活動と募金活動を続けて行きたいと思えます。また、この活動に少しでも興味がある方はお近くの県北方部員までお問い合わせください。朝夕の寒暖差が激しく体力の消耗もありますのでお体にお気をつけください。



いんふおめーしょん

いわき方部介護の日イベント

日時：11月11日（金）
会場：東日本国際大学
内容：介護疑似体験、写真展、ハンドマッサージ
など



令和4年度 介護職種の技能実習指導員講習

日時：11月20日（日）9時～17時50分
会場：郡山ユラックス熱海



花火大会

ふるさと自慢 県南方部

今回のふるさと自慢は、浅川町で毎年お盆の8月16日に開催される「浅川の花火」をご紹介します。浅川町は県の南部に位置する自然豊かな町です。人口は約6000人と小さな町ですが、「浅川町といえば？」と聞かれたら大半の町民は「花火！」と答えるくらい、花火は町民にとっての自慢であり、誇りであり、特別な想いを抱いています。

その起源は諸説ありますが、一説によれば江戸後期・寛政10年に起こった農民一揆「浅川騒動」の犠牲者供養説が有力視されています。現在に至るまで、供養花火として打ち上げられています。亡くなった家族のために供養の花火を上げる人も少なくありません。

この伝統ある花火大会は、町の青年会が継承していますが、青年会の若者が自ら花火を打ち上げる資格を持ち、花火大会を主催しています。

そして、浅川の花火大会でしか見ることができないのが地雷花です。町のシンボルである城山の頂上から打ち上げる地雷花は、山が噴火しているかのように見え、体に響く大きな音と迫力で花火大会を締めくくります。

浅川の花火が夏の終わりを告げる・・・と言っても過言ではありません。

小さな町ですが、この日ばかりは近隣の市町村だけでなく、県外からであったり、この花火に合わせてふるさとに帰ってくる人たちもたくさんいます。みなさんもぜひ一度、足を運んでみてください。



編集後記

日没がだいぶ早くなり、夜が長く感じるようになりました。
今年ワールドカップサッカーカタール大会が来月開幕します。サムライブルーの1次リーグは強豪チーム揃いですがキセキを起こし1次リーグを突破してくれることを祈っています。